# 平成 24 年度　事業報告書

## ―「知る・得る」から「伝える・発信する」へ―

市民活動団体の活動情報を、まちの情報と同じように多くの方々に知ってもらう事を目的に、地元企業を協力し、WEB 等での情報発信や地域情報を発信する担い手育成事業に取り組んだ。本年度の取り組みの大きな成果として、さいたま市市民活動支援室と協働で実施した、さいたま市マッチングファンド事業「市民記者による市民活動情報発信プロジェクト」がある。市民記者講座には 30 名以上が参加し、「市民記者による地域情報発信」の紙面づくりも埼玉新聞社の協力も得て発行することができた。

## 1、地域情報化推進に関する研修事業

### 1-1「市民記者による市民活動情報発信プロジェクト」（さいたま市マッチングファンド事業）

市民活動や地域の情報を市民目線で発信する「市民記者」の養成と、市民記者によるさいたま市内の「市民活動情報」の広報ツールの作成、及び情報発信活動をおこなった。

多くの市民活動団体が運営上の課題としているのは「資金不足」「活動場所確保の難しさ」「担い手不足」、そして「情報発信・広報」についてである。さいたま市においても様々な市民活動団体が地域の課題解決のために活動をしているが、まだまだ広く一般には知られていない現状がある。そこには市民活動団体の「広報下手・情報発信力不足」という課題がある。本事業ではその課題解決を目的とし、誰もが地域の課題やまちの話題を効果的に発信できるように記事の書き方や取材の仕方など情報発信の基礎を学ぶ「市民記者養成講座」を市内２会場で開催。30 人が参加した。また、市民活動団体向け広報セミナーや ICT ツールの活用セミナーも実施した。本事業ではセミナーサロン等合わせて延べ 278 人が参加した。その市民記者を中心に、さいたま市（市民活動支援室）、市内事業者と協力し、市内における市民活動の広報活動を行い、市民活動の情報発信を継続的に行なう事のできる仕組みづくりをおこなった。

【実施日程・内容・参加人数】

| | 日程 | 実施事業名 | 参加者数 | 受講料 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 9 月 26 日（水）14:00～ | 意見交換会：（ワールドカフェ） | 53 名 | 無料 |
| 2 | 10 月 25 日（木）18:30～ | サロン：市内の市民活動情報について | 15 名 | 無料 |
| 3 | 10 月 30 日（火）18:30～ | サロン：広報、情報発信のあり方 | 15 名 | 無料 |
| 4 | 11 月 23 日（祝）13:30～ | セミナー:「市民記者講座うらわ会場」ⅰ | 9 名 | 3,000 円 |
| 5 | 11 月 27 日（火）19:00～ | サロン：IT ツールの活用について | 17 名 | 無料 |
| 6 | 12 月 2 日（日）13:30～ | セミナー:「インターネット活用」 | 23 名 | 1,000 円 |
| 7 | 12 月 5 日（水）18:30～ | セミナー:「SNS 活用講座」 | 14 名 | 1,000 円 |
| 8 | 12 月 9 日（日）13:30～ | セミナー:「市民記者講座うらわ会場」ⅱ | 9 名 | － |
| 9 | 12 月 15 日（土）13:30～ | セミナー:「ホームページ作成講座」ⅰ | 20 名 | 1,000 円 |
| 10 | 12 月 21 日（金）19:00～ | 紙面製作：情報誌、情報発信の製作 | 15 名 | － |
| 11 | 12 月 22 日（土）13:30～ | セミナー:「ホームページ作成講座」ⅱ | 20 名 | 1,000 円 |
| 12 | 1 月 12 日（土）10:00～ | セミナー:「市民記者講座おおみや会場」 | 20 名 | 3,000 円 |
| 13 | 1 月 18 日（金）19:00～ | 紙面製作：情報誌、情報発信の編集会議 | 15 名 | － |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 14 | 1 月 28 日（月）19:00～ | 紙面製作：情報誌、情報発信の編集会議 | 15 名 | － |
| 15 | 1 月 26 日（土）13:30～ | セミナー：「広報誌作成講座」 | 14 名 | 1,000 円 |
| 16 | 2 月 6 日（水）13:30～ | セミナー：「ホームページ作成講座 2」 i | 10 名 | 1,000 円 |
| 17 | 2 月 8 日（金）19:00～ | 紙面製作：情報誌、情報発信の編集会議 | 15 名 | － |
| 18 | 2 月 12 日（火）19:00～ | 紙面製作：情報誌、情報発信の編集会議 | 15 名 | － |
| 19 | 2 月 16 日（土）13:30～ | セミナー：「ホームページ作成講座 2」 ii | 10 名 | 1,000 円 |
| 20 | 3 月 8 日（金）18:30～ | 紙面製作：情報誌、情報発信の編集会議 | 15 名 | － |
| 21 | 3 月 16 日（土）13:30～ | セミナー：「チラシ作成講座」 | 7 名 | 1,000 円 |

**① 「市民活動団体・地域情報発信力向上のための意見交換会」の開催**

**【概要】**

- 情報発信や広報力向上に関心のある市民活動団体、埼玉県内で事業を行なう各種メディア関係者（新聞・ラジオ・テレビ・WEB・地域情報紙）での意見交換会。なるべく多くの参加者同士で意見交換することを目的とし、ワールドカフェ形式（テーマごとにテーブルを異動する）で開催した。
- 当日参加者は 53 名。市内で活動する団体、情報発信に取り組む企業、近隣自治会、市職員、関心のある市民など、多様な分野からの参加があった。

**【成果】**

- 主な感想

  「この会自体が情報交換の場になって良かった」

  「さいたま市のこれからの社会をイメージして必要物を一つづつ実現できるシステムと、地域の歩みの積み重ねができていければいい」

  「さいたま市の取り組み、活動がたくさんあることを知ることができ、とても有意義な時間になりました」

  「企業・行政・NPO の３つが参加してこれからもプロジェクトとして進めていくとのことですので、楽しみです」

  ※主な意見は別紙１：ワールドカフェアンケート
- キーワードや課題、アイディアをセミナー企画やモデル事業づくりに活かした。

ワールドカフェ風景
様々な分野、世代が参加

各テーブルに置き、参加者が自由にアイディアや意見を書き込んだ模造紙

**②「伝える技術」を学ぶ市民記者講座の開催**

**●市民記者講座**

**【概要】**

- この情報を知ってもらいたい、伝えたいという市民活動関係者、地域情報の発信に関心のある市民を対象に、プロの編集者を講師として「記事の書き方」「取材の仕方」を学び、伝える力を身につける講座。
- 座学で「何がニュースなのか」「一番伝えたい事は何か」「どうすれば簡潔に表現できるか」といった内容を学び、実際に受講生が短い記事を作成し、講師からアドバイスを得る実践的な内容で実施した。

**【成果】**

- 南浦和会場では 9 名、大宮会場では 21 名の参加者があり、市内で活動している人、主婦、定年退職者、学生などが参加した。
- 講座修了後は引き続き地域情報、市民活動情報発信の取り組みへの参加を呼びかけ、参加者のうち 15 名がその後の事業や紙面づくりに関わった。
- 主な感想

「実践的な内容で、かつ、分かりやすく、なるほどと思わされるポイントもあり、とても勉強になった」

「とても濃い内容で勉強になりました。ありがとうございました。一日では足りないと思いました。記事を書く時間が少なかったです。今後も勉強していきます。」

「文章を書くという事はとても難しいと思いました。他の方が書かれた文章を一緒にワークさせていただきとても勉強になりました。とても充実していました」

「記事を書く心構えなど、市民記者が前提として共有しておくべきことを学ばせていただきました。今日は記者会見形式の取材でしたが、人の話を聞き整理する事の難しさを体感しました。講座の内容も楽しく学べて良かったです」

おおみや会場での講義

模擬取材風景

**③紙面、WEB などの媒体別「広報セミナー」「PC 活用セミナー」の企画、実施**

**【概要】**

- **インターネット活用講座、SNS 活用講座、ホームページ作成活用講座、チラシ作成講座、広報誌作成講座**

**【概要】**

・情報発信のためのツールである、インターネット、SNS（Facebook を中心に）、ホームページ、チラシ作成、広報誌作成をそれぞれの特徴を踏まえた広報ツールの使い方について学ぶ講座。

・ただ情報発信をするツールの使い方を学ぶだけの場ではなく、きちんとそれぞれの概念とポイントを考え、また参加者各自の持つ訴求ポイントをどこに置いて、どんなターゲットに向かって発信するかなどの基本的なポイントを押さえた内容で実施した。

**【成果】**

・ツールの使い方だけではなく、情報発信の際の考え方が分かったというアンケートが多数寄せられた。その傾向は特に複数回参加した方に顕著だった。

・講座によっては 20 名を超える参加者が参加した。参加者の年齢層もさまざまで、ワークなどでは多様な世代による意見交換が行われた。特に情報発信に関する世代間の意識差は顕著で、それを知る機会になった。

・講座受講生から市民記者講座、さらには市民活動情報発信の取り組みや紙面づくり事業に関わる方も複数いた。

・主な感想

「市民活動や NPO において、コストや手間をかけずに広報や活動をスムーズにすすめるあてめの情報共有を行う事例を知る事ができて良かったです。NPO の活動を支援する際に活用していきたと思います」

「本日も新しい世界の話をきけて良かったです。知らないことは恐れや不安をそそります。分かりやすいお話で新しいツールや知識を教えていただきたいと思います」

「何を発信したいかを持っていること、人と人とのリアルな関係を基本に考えることが大切だと思いました。チャレンジしてみようと思いました」

「HP を作るために、目的等をはっきりさせておかなければならないということは理解できたし、その通り！と思った」

インターネット講座

チラシ作成講座

**④市民活動や地域情報の発信のプラットフォームづくり**

**【概要】**

「市民記者講座」やその他講座の参加者を中心に、「さいたま市民記者クラブ」をつくり市民活動・地域情報の発信に取り組んだ。企画会議を行い、さいたま市の各区の新たしい動きや市民活動（主にマッチングファンド事業)、地域情報について取材して記事を作成した。新聞社、ポータルサイト運営会社の協力で、作成した記事は紙面、WEB で広く市民に情報発信をおこなった。

**【成果】**

・実際に市民活動をおこなっている団体からの広報ではなく、市民記者が取材・記事作成をすることで第３者視点からの広報をおこなうことができた。取材した団体からは、「作成てもらった記事をコピーして会員や地域の方々に配り、広報をすることができた」といった感想をもらった。
・今回の事業で参加した「市民記者」は今後も市民活動・地域情報発信の取り組みについて参加希望をする人が多く、今後も継続した情報発信の担い手の育成と仕組みづくりをおこなうことができた。

企画会議

サウスピアへの取材

市民が発信 10区の話題
仕事と交流の空間に
大宮駅東口に誕生
「ライバルは台湾！」
激戦、世界盆栽大会誘致へ
変わる浦和駅東口
見沼代用水でカヌー体験も
毎朝、児童に声掛け
交通指導員の土橋さん
「河童の森」上流整備へ
公園構想に市民ら動く
初の大型公共施設誕生
駅直結、市民に人気
「おもかげ館」
被災者を慰霊

作成した取材記事

マッチングファンド実施団体への取材

紙面発行後の反省会と今後への検討会議

## 1-2　共催・委託・講師派遣

### ■「年金受給者協会浦和支部パソコン講座」

年金受給者協会から依頼があり、組合員に向けてパソコンの基礎から学ぶ講座を共催。
主に毎月第 2、第 4 金曜日の 17:00～19:00、計 22 回開催した。会場は浦和区仲町のイーシ テ ィ埼玉キャリアセンター。各回の参加者は 7 名～12 名。

### ■　30 秒で伝える、地元自慢 CM づくり講座

総務省が行う「わがまち CM コンテスト」に作品出展者を対象とした、映像作成の講座を企画・運営を行う。8 月 21 日・28 日の 2 日間講座で会場は南区の株式会社アストンの研修室を借りて実施、参加者は 12 名。実際にムービを制作し応募した参加者がいるなど、充実した内容の講座であったが、講座の開催決定から実施までの期間が短く、広報に力を
入れることができなかった。

【内容・講師】
「一番伝えたいことはなに?ストーリーづくりワークショップ 1」
「映像の効果、著作権について」
講師　ものがたり法人 FireWorks 企画プロデューサー　池内絵美氏
「演習 Movie Maker の使い方」
講師 NPO 法人埼玉情報センター　秋本創

人・地域を巻き込み、参加型映画製作を手がけ、物語創りを通して「人とまち」を見返し、未来へつなげる「場」のプロデュースしている講師から、ストーリーをどのように描くか、伝えたい事を映像にするコツなどを学ふんだ。

## ２、地域情報化推進に関する相談事業

### 2-1「パソコンサークル運営」

パソコン講座の修了生を中心としたサークルは、昨年に引き続き情報センターの主催事業として開催し、参加者一人一人の疑問や課題、ニーズにより細かな対応をすることができた。

・サークルさくら　第１・第３金曜日開催　参加者７名
・第２サークル　第２・第４金曜日開催　参加者７名

### 2-2「NPO 事務局支援」

ICT 普及や地域情報発信をおこなう市民活動団体に対して、パソコンやプロジェクターなどの機材を貸し出す事業を予定していたが、平成 24 年度は実施できなかった。

## ３、地域情報化推進のための企画・制作・運営事業

### 3-1 市民活動情報発信

さいたま市を中心とした地域の市民活動情報をインターネット上で広報する取り組みを　行う。共に情報発信に取り組む（株）イーシティ埼玉が運営するポータルサイト「イーシティさいたま」への情報掲載、マッチングファンド事業での（株）埼玉新聞社での紙面掲載などを行う。

### 3-2 埼玉市民記者クラブ運営

「市民記者講座」修了生を中心に「埼玉市民記者クラブ」をつくり、市民目線でのまちの話題・課題を WEB 及び紙面に掲載する取り組みを始めた。また、毎月 1 回開催する「市民記者ミーティング」では、記事の書き方など「伝える技術の向上」と市民記者同士の「情報交換の場」として行っている。会場はさいたま市市民活動サポートセンター。平成 25 年 2 月からはマッチングファンド事業として、紙面づくりに取り組んだ。

### 3-3 コバトンカフェ企画運営

埼玉県庁内で埼玉の魅力や地域情報発信を目的としたカフェ事業の企画・運営。店舗運営は（株）REDJAPAN に委託し、埼玉県産の野菜、果物を使ったメニューを共同開発、企画広報を行い、埼玉県の魅力を紹介する活動を行った。

市民記者クラブ　運営の様子

さいたま市市民活動サポートセンターで IT に関する相談会を開催

## ４、地域活性化のための交流事業

### 4-1　ICT サロン

マッチングファンド事業として開催。

- 10 月 30 日「広報・情報発信の在り方」15 名参加
- 11 月 27 日「IT ツールの活用について」17 名参加

また、5 月より「Social IT Café」として毎月第 4 木曜日の 19 時から行うこととし、5 月 16 日に第 1 回目を開催した。テーマは「今こそ Mac？ Mac の魅力と活用術」。ゲストは NPO 法人都市づくり NPO さいたま事務局長三浦匡史さん（Mac 歴 20 年）で、12 名が参加した。

### 4-2　埼玉魅力発見・体験ツアー

今年度は 2 回開催を予定していたが、開催する事ができなかった。